

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 豊橋市立新川小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例: 小中高一貫 )  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒440-0872  
豊橋市前田中町8番地の23

E-mail shinkawa-e@toyohashi.ed.jp  
Website http://www.shinkawa-e.toyohashi.ed.jp/shinkawa-e/index1.htm

幼児児童生徒数 男子 147名 女子 137名 合計 284名  
幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「ぼくたち わたしたちのまち 新川 ～地域で学び、地域から学ぶ、そして地域を愛す～」を活動テーマとして、ESDを地域連携と捉え、ESDの実践を通して人との関わりやつながりを尊重できる子を育むことを目標とした。

具体的には、地域への誇りや愛着の育成、周りの人々の尊重を柱に、①異学年と関わる活動、②PTA/保護者との連携を密にする活動、③校区・地域の方々から学ぶ活動を行った。

### ① 異学年と関わる活動

○ 児童活動による「新川フレンドパーク・なかよし遊び」

年間通じて活動を共にする、全学年縦割りによる「なかよし班」を編成。「なかよし班」でゲームや競技を楽しむ「新川フレンドパーク」を年間14回程度実施した。

○ 縦割りやペア学年など、異学年の交流を目的の一つとした学校行事

運動会の応援合戦や大玉送りを全学年縦割りの紅白対抗として、6年生を中心とした縦割り集団による主体的な活動として位置付け。遠足では、上級生と下学年のペアでグループを編成して活動した。また、弁当の日には、縦割り集団で弁当を食べたり、ゲームをしたりした。

## ② P T A／保護者との連携を密にする活動

- 地域連携活動「あいさつ運動」
- 保護者ボランティアによる「読み聞かせ」
- 学校行事「校区・地域の方に感謝する会」

## ③ 校区・地域の方々から学ぶ活動

- バドミントンクラブ・グランドゴルフクラブ
- 低学年行事「ぬきぬき大作戦」
- 校外学習・出前授業
  - ・ 1年生生活科「日本文化に楽しむ会(餅つき)」
  - ・ 2年生生活科「四九の市の見学・買い物体験」
  - ・ 3年生社会科「大型小売店の見学・買い物体験」
  - ・ 4年生理科「豊川流域水質調査」
  - ・ 5年生総合「街づくり講座」
  - ・ 6年生総合「東海道ウォーク」
  - ・ 6年生総合「戦争体験を聞く会」
  - ・ 高学年図工「お店をつくろう」



### ① ペア学年遠足

1年と6年、2年と4年、3年と5年で遠足に行きました。ゲームなどをして、仲よくなることができました。



### ② 感謝する会

2月に、お世話になった方を招いて、感謝する会を開きました。お礼の手紙を渡したり、一緒にゲームを行ったりしました。



### ③ 東海道ウォーク

旧吉田宿の史跡やお城の様子をガイドさんに教えていただきました。

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他 (地域連携 )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他 (自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他 (自由記述 )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

* 「かがやくとよはし」 編集：豊橋市立小学校社会科副読本研修委員会 発行：豊橋市教育委員会 平成23年4月1日発行 印刷：株式会社アプライズ
* 「せいかつ」 啓林館

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクールの活動を各学年の教育課程に位置づけ、計画的に取り組むようにした。地域連携活動「あいさつ運動」のように、問題解決的な学習過程を取り入れ、あいさつ運動の問題点を見つけ、もっとあいさつが活発になる改善点を学級で考え、子どもたちが実践した。後期には、前期の実践を踏まえて、さらによくなる方法を考えるように指導計画を組んだ。

また、ユネスコスクールの活動内容によっては、教科横断的な指導計画を組むようにした。教科の組み合わせとしては、生活科と国語、総合と国語・図工等である。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本年度の重点項目の中に、ユネスコスクールに関係する「明るい挨拶ができる子を育てる」「異年齢交流を充実・発展させ、仲間づくりや心づくりを図る」「保護者・地域との連携を深め、防災・防犯・事故防止などの危機管理意識を高める」「関わり合う学びを通して思考力を育てる」を入れ、全職員が一丸となって取り組んでいる。学校の活動を、月1回の社会福祉協議会で報告し、地域の協力を仰いでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本校では、保護者や子ども、教職員に行う学校評価の項目の中に、ユネスコスクールとして行っている「縦割り活動」や「あいさつ運動」を入れている。縦割り活動については、昨年度より大幅に「よい」と答えた割合が増えており、来年度も引き続き行っていきたい。あいさつ運動については、子どもは「地域や友達にあいさつをしている」と答えた割合は増えているが、保護者や教職員は、子どもの半分ぐらいしか「はい」と答えていない。あいさつのレベルを上げる取り組みを考えていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学年通信や学級通信で活動の様子・成果を月1回程度伝えるとともに、学校新聞で校区の人にも活動の様子・成果を伝えている。保護者や地域の方からユネスコスクールの活動を含め学校の諸活動に対する理解は高まっていると感じる。

もっと活動の様子を細かい間隔で発信してほしいという要望もあるので、来年度からはホームページで、できるだけ多く発信したいと考えている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

校区の老人クラブの方と一緒に10月に「ぬきぬき大作戦」を1,2年生が行っている。老人クラブの方に草の抜き方等を教えてもらい、一緒に校庭の草取りをした。また、近くの2つの幼稚園と5年生や1年生が交流をしている。歌の交換をしたり、ゲームをしたりして交流した。1,2年生は少し成長したことを実感し、5年生は来年の新生の面倒の見かたを実感することができた。また、幼稚園児は学校生活の雰囲気を楽しみ、4月からの小学校生活の意欲を高めることができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)  
※チェック事項 2-4 に対応

本年度、ユネスコスクール豊橋大会に教職員が参加して、他校の先進的な取り組みを聞いた。本校は現在、国内外のユネスコスクールとの交流を行っていないが、ホームページ等で情報発信を多くし、交流やネットワーク形成を考えていきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

ユネスコスクールで「異学年交流」を行っているため、1年から6年生まで、仲がよい。放課に6年生が1年生の教室の前で一緒に遊んでいる姿がよくみられる。また、「PTA／保護者との連携を密にする活動」や「校区・地域の方々から学ぶ活動」を行っているため地域・保護者との関係もよい。大変協力的である。子どもたちも校区運動会や地域の祭りなどの行事に積極的に参加している。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

通年：新川フレンドパーク（なかよし班）、読み聞かせ  
5月：ペア学年遠足、運動会（全学年縦割りの紅白対抗）、お店見学  
6月：あいさつ運動  
7月：お店をつくろう  
9月：校区運動会  
10月：ぬきぬき大作戦、あいさつ運動  
1月：書初め会（6年大書）、日本文化に親しむ会（餅つき）  
2月：感謝する会

※他の豊川流域水質調査、街づくり講座、東海道ウォーク、戦争体験を聞く会などは、来年度実施日決定。